



神楽島



長崎市立式見小学校
校長 中尾 善蔵



6年生を送る会

3月1日（水）、全校児童が対面で集まり、「6年生を送る会」を実施しました。

マスクはしたものの、全校児童による体育館での大きな声での発表は、1～3年生は初めての経験だったかに思います。

それぞれの学年が、6年生との思い出や6年生への感謝の気持ちを伝える出し物を披露してくれました。

また、6年生も、在校生に対してエールを送り、たくさんの「パワー」を送ってくれました。

集会とは関連はありませんが、3月11日、東日本大震災から12年が経ち、テレビでも「鎮魂の祈り」の様子や、岩手県陸前高田市生まれの佐々木朗希投手が、堂々のWBCデビューし、地元からも熱いエールが送られました。

ふと、当時、被災地の報道の合間にテレビで流れた一片の詩を思い浮かべました。それは、ACジャパンの意見広告で繰り返し流された詩です。

埼玉県出身の詩人・宮澤章二氏『行為の意味』から抜粋要約したフレーズは、みなさんも、思い浮かべるのではないのでしょうか。

「**こころ**」はだれにも見えないけれど

「**こころづかい**」は見える

「**思い**」は見えないけれど

「**思いやり**」はだれにでも見える

本当に、「6年生を送る会」は、全校児童のこの「こころづかい」と「思いやり」があふれた素晴らしい集会で、子ども達の心の成長に触れることができた集会でした。



卒業式予行練習

3月9日（木）、全校児童による「卒業式予行練習」を実施しました。

あっという間に、卒業式が迫ってきました。一年が経つのが早く感じるのは、「チコちゃんに叱られる！」で解説していた専門家によると、「時間の感じ方には、心がどのくらい動いているかが重要で、つまり、トキメキを普段からどのくらい感じているか？」で変わるんだそうです。この現象を「ジャンナーの法則」と呼ぶそうです。

真剣に取り組み、式歌を歌う6年生を見ながら、自分も6年担任として思い入れとこだわりがあった2曲の歌を思い出しました。昭和ではなく、平成の時代の話です。

さよなら友よ

心を映して 空の色 少し悲しく 光る朝
別れの時が今せまる
さよなら友よ さよなら友よ
忘れまいこの日を いつまでも

なんにも言わない校舎さえ 心ありげに見える今日
勇んで行けと声がする
さよなら友よ さよなら友よ
忘れまいこの日を いつまでも

草の芽のびゆく 春の道 行く手示して うかぶ雲
別れの時が今せまる
さよなら友よ さよなら友よ
忘れまいこの日を いつまでも

巣立ちの歌

花の色 雲の影 懐かしい あの思い出
過ぎし日の 窓に残して 巣立ち行く 今日の別れ
いざさらば さらば先生
いざさらば さらば友よ
美しい明日の日のため

風の日も 雨の日も 励みきし 学びの庭
かの教え 胸に抱きて 巣立ち行く 今日の別れ
いざさらば さらば先生
いざさらば さらば友よ
輝かしい明日の日のため